

中国の伝説上の生き物、龍。皇帝のシンボルでもあり、たくさんの作品のモチーフになっています。

展示室にいる九頭の龍を探してみよう！



文字にかかれた龍

行書神龍詩帖

龍といっても、絵に描かれたものばかりではありません。字に書かれた龍、どこにあるかわかるかな？



アクセサリーになった龍

双龍形玉璫

玉というきれいな石を磨いて作ったアクセサリー。振り向いた龍が、左右対称に細かく彫られています。先の反りかえった鼻、大きく曲ったからだ。今にも動き出しそうです。



食べ物をいれる龍

簋

ごはんなどの穀類を盛る器。細い線のようなもようをよく見ると、向かい合った龍のデザインになっています。



ハンコになった龍

金銀龍鈕印「珣貴妃之宝」

皇妃(お妃さま)が使うハンコに、龍がデザインされています。頭が大きく胸が小さく、ユーモラスな龍です。



ヒスイの龍

做古玉壺

ヒスイで作られた壺の首の部分に、宝珠をとろうとしている龍がデザインされています。高く上げた顎、長い舌、跳ね上がった毛と、生き生きした姿です。



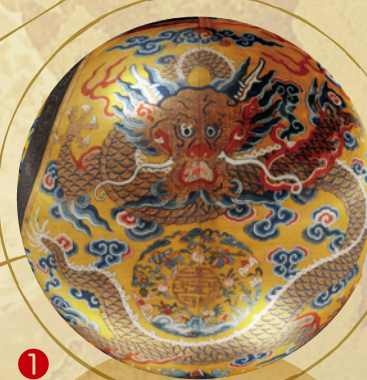
皇帝の服の中の龍

① 明黄色彩雲金龍紋緞絲朝袍

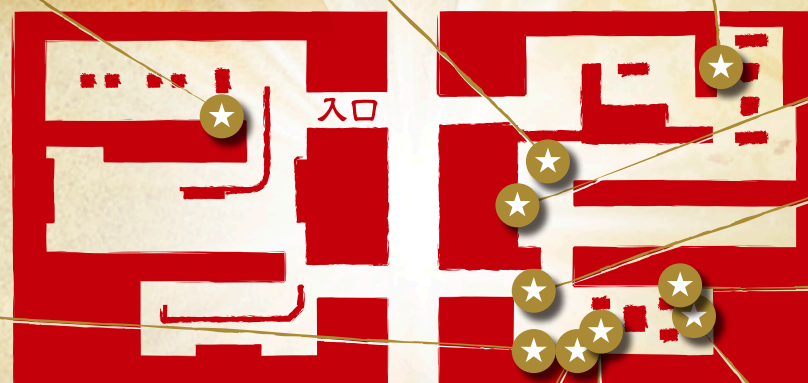
あらゆる動物の頂点に立ち、めでたいしるしでもある龍が、皇帝のシンボルとして衣服にあらわされています。こうした黄色の衣服は、重要な儀式のための最高の礼服です。

② 乾隆帝像

乾隆帝という皇帝が着ている冬の礼服にも、龍が描かれていますね。展示されている衣服が、どのように着られていたかわかります。



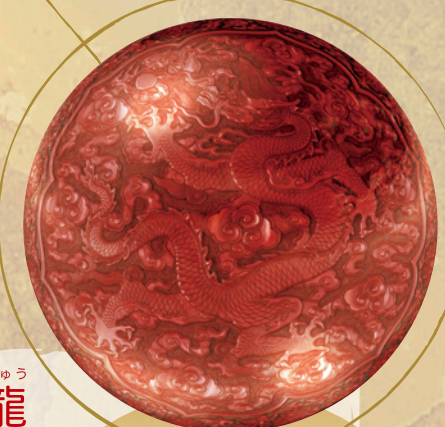
展示室の地図



赤い龍

雲龍堆朱大合子

この龍は5本爪なので、皇帝のシンボルである「五爪龍」のデザインだとわかります。龍が9匹いることも、皇帝のシンボル「九龍」をあらわしています。



角のない龍

琺瑯蓮唐草文龍耳瓶

花瓶の両側に、龍のかたちをした金色の耳がついています。どこか他の龍と違うと思いませんか？これは「螭」と言われる、角のない龍です。

